

## I 調査の概要

### 1 趣旨・目的

学習指導要領において身に付けることが求められている基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力等に関する学力状況を把握するとともに、児童生徒の学習に関する意識や学び方などの学習状況を把握する。

また、各学校に全県的な傾向との比較・分析などを通じて、自校の課題を明確にさせ、問題解決的な学習活動を取り入れるなど教員の指導法改善を図るとともに、児童生徒の学力向上を図る。

### 2 調査の対象学年、学級等

- (1) 県内すべての小学校第5学年、中学校第1、2学年の全学級の児童生徒を調査対象とする。ただし、複式学級を有する学校においては、履修していない内容を調査から除外して実施する。なお、小・中学校における特別支援学級の児童生徒については、該当学年の学習内容を履修していない教科・内容を調査から除外して実施する。
- (2) 特別支援学校においては、該当学年の学習内容を履修している児童生徒を調査対象とする。

学校種	学年	実施校	調査児童生徒数
小学校(小学部)	第5学年	525校	14,775人
中学校(中学部)	第1学年	231校	14,398人
	第2学年	229校	14,183人

\* 調査対象学年に在籍者がいない学校は除く。

\* 調査人数は、欠席等により各教科、設問によって異なる。(上記は最大値を示す。)

### 3 調査の内容

#### 学力調査

主として「基礎・基本」に関する内容と主として「思考・表現」に関する内容で出題し、調査対象教科の学力の定着状況(当該学年の12月終了程度までを範囲とする)について調査する。調査対象教科は以下のとおりである。

【小学校(小学部)】 第5学年 …… 国語、社会、算数、理科

【中学校(中学部)】 第1、2学年 …… 国語、社会、数学、理科、英語

#### 学習状況調査

質問紙により、調査対象者の学習に関する意識や学び方などの学習状況について調査する。

### 4 調査の実施時間

#### 学力調査

小学校(小学部) 45分(調査票の配布・説明等5分, 調査時間40分)

中学校(中学部) 50分(調査票の配布・説明等5分, 調査時間45分)

#### 学習状況調査

小・中学校(小・中学部) 15分(調査票の配布・説明等5分, 調査時間10分)

### 5 調査の実施日

学力調査 平成26年1月15日(水)・16日(木)

学習状況調査 平成26年1月14日(火)～17日(金)

### 6 調査の採点及び結果の集計・分析

- (1) 各学校は、自校の児童生徒の調査について採点・集計を行い、当該市町村教育委員会へ報告する。自校の調査結果については、保護者に対して説明責任を果たすと同時に、今後の指導方法や学び方の改善に生かす。
- (2) 各市町村教育委員会は、管下の学校の調査結果を集計し、県教育委員会へ報告する。自市町村の調査結果については、自市町村の学力向上や指導法改善への取組に生かす。
- (3) 県教育委員会は、調査結果を集計・分析し、県全体の学力の定着状況について公表するとともに、指導方法の工夫改善の参考となる資料を作成し、各学校に配布することにより、各学校の学力向上への取組を支援する。

## 7 学力調査の問題内容（思考・表現）

鹿児島学習定着度調査は、次の2つの内容で出題している。

- ① 主として「基礎・基本」に関する問題
- ② 主として「思考・表現」に関する問題

②の問題は、各教科、次の内容を問うものとする。

教科名	番 号	主として「思考・表現」に関する問題の内容
国 語	1	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用して課題解決する問題
	2	身近な資料を用いて、表現の仕方や文章の特徴を捉え、自分の表現に役立てることができるようにする問題
	3	複数の情報を関連付け、それをもとに自分の考えを論理的に書くことができるようにする問題
社 会	1	社会的事象の特徴や背景・原因等について、自分の考えを筋道立てて説明する問題
	2	提示された資料を関連付けたり、比較したりして読み取ったことをもとに、社会的事象について説明する問題
	3	歴史的事象の相互の関係を判断したり、社会的事象について正しく説明しているものを判断したりする問題（選択肢による出題）
算数・数学	1	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用して課題解決する問題
	2	示された課題解決の過程を、新たな課題に活用して解決する問題
	3	課題解決の方法や判断の根拠などを言葉、図、式、表、グラフを用いて、筋道立てて説明する問題
理 科	1	観察、実験の結果（事実、データ）から結論を考察する問題
	2	原理、法則を他の身近な現象に当てはめて説明する問題
	3	視覚的に実感しにくい現象をモデルで説明する問題
英 語	1	「聞くこと」においては、聞き取った英語を基に、英文を完成させたり、英語の質問文に英語で答えたりする問題
	2	「読むこと」においては、文と文のつながりや段落と段落の関係、内容に合う英文選択などを問う問題
	3	「書くこと」においては、対話文の流れを把握した上で、適切な英文や内容的にまとまりのある英文を書く問題

○ 各教科の解答類型の「思考・表現」の欄に番号が記載されている。